

第 1 回土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議 議事録

1 開催日時・場所

令和元年 12 月 17 日（火） 午後 3 時から
土岐市保健センター 4 階 大研修室

2 次第

1. 開会
2. あいさつ
3. 委員の紹介
4. 議事

- (1) 土岐市人口ビジョンおよび土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
(事務局説明)
- (2) 第 2 期土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針 (事務局説明)
- (3) 土岐市の現状及び人口構造等について (事務局説明)
- (4) 第 1 期総合戦略の実施状況および効果検証について (事務局説明)
- (5) 各委員による意見交換

3 資料

- 資料 1 土岐市人口ビジョン
- 資料 2 土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 資料 3 第 2 期土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針
- 資料 4 次期「地方版総合戦略」の策定に向けて
- 資料 5 土岐市の現状及び人口構造等について
- 資料 6-1、6-2 第 1 期総合戦略の実施状況および効果検証について

4 出席者

土岐市まちひとしごと創生総合戦略推進会議委員

司法書士	伊藤 嘉子
土岐商工会議所会頭	大島 健太郎
東濃信用金庫土岐市駅前支店	神田 昌宏
土岐市青年団体協議会会員	土本 ゆみ
中部大学教授	豊田 洋一
岐阜新聞東濃総局長	野中 準二

土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定プロジェクトチーム

総務課長	稲垣 清之
子育て支援課長	田中 祐子

保健センター所長	桑原 加津代
産業振興課長	水野 健治
都市計画課長	加藤 芳克
教育委員会教育総務課長	太田 弘
まちづくり推進課長	山路 峰弘
事務局	
総務部長	下原 孝一
総務部調整監兼企画財政課長	林 洋昭
企画財政課主幹	柳河瀬 克彦
企画財政課長補佐	林 希由
企画財政課企画統計係長	鈴木 喜裕
企画財政課調整係主査	與語 直人
企画財政課企画統計係主査	加藤 沙織
傍聴者	6名。

5 議事

- (1) 土岐市人口ビジョンおよび土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略について
 - (2) 第2期土岐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定方針
 - (3) 土岐市の現状及び人口構造等について
 - (4) 第1期総合戦略の実施状況および効果検証について
- 事務局 資料1～6－2について説明。

(4) 各委員による意見交換会

座長 事務局から説明のありました議事に関して、の質疑を含め、意見交換に入りたいと思います。

第2期の総合戦略は、第1期の総合戦略の基本目標や方向性と同じという事ですので、第1期の総合戦略に、もっとうこういうことを付け加えた方が良いとか、こういう考え方があった方が良いといったご意見がいろいろあるかと思いません。是非ご発言をお願いします。

事務局から説明のありました、土岐市の現状や事業に関わる質問や実績、日頃の土岐市の市政に関する要望、まち・ひと・しごと創生に資する取組の提案など、なんでもかまいませんので、自由に発言をお願いします。

委員 長年行政を取材してきて、あらゆる社会問題の根源に人口減少というものがある、自治体で見ると、社会保障費や事務的経費が膨らみ続けて政策に使える自由度のある予算がすごい勢いでなくなってきていると感じます。将来的には住民サービスの縮小、カットというのも考えなければいけないようになってくるのかなと感じます。これまで、住民からの要請に応じて補助金とかを出して

きていますが、**住民の活動の自立を手助けするような予算の使い方もますます重要になってくる①**と思います。自治体あるいは住民それぞれが主催しているイベントや事業にしても、行政にお金がないのであれば**クラウドファンディングといった手法を取り入れる②**、あるいは、手法をその団体に教えるというような取り組みがあってもいいのかなと思います。

座長 やればやるほどお金が膨らんでいくなか、知恵をだすことで、お金がかからない方法があるのではないかと、そういう話だったかと思います。

お金の話が出ましたので、東濃信用金庫の神田さんどうでしょうか。

委員 前任地が美濃加茂にある東濃信用金庫の山手支店というところでした。美濃加茂市の行政との関わりというのがいろいろありまして、シンクタンクで地域活力研究所というところがあり、人口統計等いろいろな調査をする中で、近隣市町村のほとんどが消滅可能性都市という状況の中で、美濃加茂市の人口は増えています。土岐市も人口減少の傾向がみられますが、美濃加茂市のような、人口の伸びている事例に習うというのもひとつの策ではないかなと思います。美濃加茂市は、駅裏の開発が進んでいて、大手企業が進出してものすごい勢いで栄えてきています。そこに北口ができて、そういうこともあって人口が増えているとみています。土岐市だと、駅裏にそんなに土地があるという印象がないので、逆に**駅前に、他市に習ってなにか賑わいを創出できる取り組み③**ができるのではないかなと感じました。

委員 いろいろな人と接する中で、土岐市の印象はどうですかと良く聞きます。そうするとほとんどの方が、土岐市の駅前はどうなっているんだと言われます。それから、土岐市というのは地域連合が強い。何をやるにしても地域で固まってしまって、協力性が薄いと感じます。駅前については、シャッター通りというよりも、歯抜けになってしまっている状況で、我々商工会議所として何ができるかという、そんな簡単にできるものではないということはよく分かります。それでも、アウトレットに年間700万人以上の人 coming、その中で、**土岐市の駅前に行けばアウトレットにも売ってないものがある、そんな魅力のあるものが、なんでも、1店舗でもいいからできれば、アウトレットから人が流れる道ができる④**のではないかなと感じています。

柿野の工業団地のなかに、MARUWAという会社があります。もともと大正時代から陶器屋さんでした。昭和30年くらいから、通信事業の特殊な製品をつくり始めて、今や世界のMARUWAといわれるほどの企業です。国内4社、海外14社、営業利益も高く、素晴らしい優秀な会社です。

土岐市の窯業界が元気になり、地場産業が発展することを願っていますが、**今のところから少し抜け出して、少し方法を考えれば、同じ窯業界であるわけなので、いろいろな事業を展開できる⑤**のではないかと思います。

今まで商工会議所として、後継者育成というのは美濃焼産業をメインで考えて

いました。若手経営の皆さんには、窯業界以外にも、非常に優秀な方もみえます。多治見は青年部をつくってみえますが、土岐は青年部というどうしても年齢制限がある。もう少し幅広い経営者の若手を育てようという事で取り組みを始めています。私はもともと電機屋ですので、**駅前をなんとかできないか⑥**という事を中部電力や市長に話をしたりしています。

何でもいいので何かひとつ、土岐市は変わったというイメージを持ってもらえることができないかなと、いろいろ取り組みを始めようと思っております。

委員

私は、地域の子どもたちと仲良くなりたいと思ひまして、この前、隣の子どもに野菜の収穫を手伝ってもらいました。お願いしたら、喜んで手伝ってくれました。**子どもたちに、小さいころ土岐市にいて良かったなと思ってもらえる⑦**よう、小さいことですが取り組んで、**明るい社会をつくっていく基本ができたら⑧**と思います。土岐市は住みやすいところだなと思っています。

委員

青年団体協議会は教育委員会の生涯学習課の中の協議団体の1つで、図書館への寄贈や、施設へ手作りの物を寄贈する中で、土岐市は**子どもたちの教育力を上げるという取組みを一生懸命やっている⑨**などと思います。土岐市図書館は、浴衣のイベントがあったり、**本に触れ合う機会を与えてくれるイベントが結構あるな**と思いました。こういうイベントは、これからも続けていっていただけるとありがたい⑩と思います。

女性やお年寄の方も、みんなが元気で働き続けられたらいいな⑪と思います。人口が減って、働く人が少なくなると土岐市が元気ではなくなってしまう、働く場所を知らせてあげるといったこともできたらいいと思います。

父が、土岐津小学校の学童の支援員をしています。そのおかげで**毎日子どもたちと遊んで、家でしゃべる機会が増え、家族の会話も増えました。年配の支援員さんが結構みえますが、まだまだ活躍ができる⑫**のではないかなと、ありがたいなと思っています。

青年団は婚活パーティーを長年やってきまして、市の補助金で大変助かっています。ここ2～3回、まちづくり委員会の予算を使って、今までよりもグレードアップしたことができています。婚活パーティーをするうえで、男子力、女子力をアップしようと、事前セミナーを実施して、**婚活パーティをやっています。もう少し肉付けして、良いことができればいいな⑬**と思います。

委員

最近周りの若い子を見ていると、自宅から大学、会社に通えと、居心地が良くて結婚願望があまりない子が増えている印象を受けます。

積極的な子は婚活パーティーにも参加しますが、マッチングアプリを使っている子が意外に周りにいます。**マッチングアプリの使い方とか危険性、注意点のセミナーが、婚活支援に関していえばあってもいいのかな⑭**と思います。

委員

スタッフもマッチングアプリを体験していて、それをパーティーに活かしています。なかなかしゃべれない人もいるので、マッチングシートを利用してしゃ

